図書館だより

LIBRARY INFORMATION

●スペシャル展示コーナー

テーマは「芥川賞・直木賞歴代受賞作品」です。

芥川龍之介賞・直木三十五賞は、文藝春秋の創業者である菊池寛氏が二人の友人の名を記念し、昭和10年に制定しました。

選考会は、7月中旬と1月中旬の年2回開かれます。今年1月の最新受賞作や、歴代の受賞作品を一堂に集めて展示します。この機会にぜひ手に取ってご覧ください。

●丸テーブルの展示

テーマは「折り紙・ペーパークラフト特集」です。

小さな子どもさん向けから、飾って楽しめる大人向け折り紙まで、さまざまな折り紙の本を所蔵しています。

また、クラフトテープを使ったバッグ作りの本、立体カード作りの本など、ペーパークラフトに関する本もたくさん取り揃えております。ぜひ、展示コーナーをご覧ください。

●図書館からのおねがい

借りている本や雑誌・視聴覚資料（DVDなど）は、返却期限内にお返しくださるようお願いします。

返却期限を過ぎた場合、図書館から電話連絡をしています。次に利用したい方が待っていますので、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いします。

また、住所や電話番号等に変更があった場合は、図書館の利用者登録も変更届が必要です。お忘れなく、図書館へご連絡ください。

司書おすすめ紹介

ある星の汽車

福音館書店　森　洋子：作

月明りの中、たくさんの乗客を乗せた汽車が走っています。汽車に乗っているのは、さまざまな動物たち。あちこちでにぎやかに会話していましたが、モーリシャスドードーは「1681」という駅で降り、ブルーバックは「1800」という駅で降りて行き、だんだんと乗客が少なくなってきて……。絶滅した動物たちを描いた絵本です。巻末には動物の解説付きです。

どうぶつたちのおひっこし　～どうやってはこぶのかな？～

福音館書店　平山　暉彦：著

首の長いキリン、足や首がとても細いフラミンゴ、トラやカンガルーなどを別の動物園に運ぶ時、いったいどうやって運んでいるのでしょう？じつは、動物に負担をかけない、じょうずな運び方があるのです。この絵本では、それをわかりやすく順を追って紹介しています。動物好きのお子さんへの読み聞かせにぴったりの一冊です。

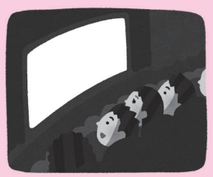
Pick Up News　「子ども映画会」を開催します！

▶日時　3月7日㈯ 13時30分～

▶場所　図書館2階 視聴覚ホール

▶上映作品　「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」（90分）

お友達を誘って、
みんなで見に来てね！



スクールインフォメーション ～学校だより～

地域活性化への取り組み学ぶ

岩瀬農業高校

12月17日㈬、アグリビジネス科の1年生は、埼玉県立杉戸農業高等学校の農業科教諭奥田文子氏を招き、杉戸農業高等学校の地域活性化への様々な取組みについて講話を頂きました。

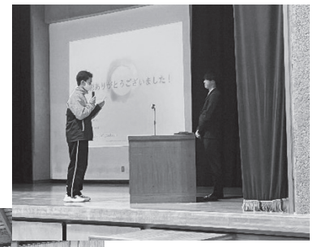
特に、地元の歴史を紐解き、地名の由来や生活習慣等を理解することで、今自分たちが高校生として地域活性化にどのように貢献できるかを考え、商品開発や高校生レストランなどを実施し、更には日光街道の各宿場町の名産品を調査しまとめ、双六ゲームを作ったお話は、とても興味深いものでした。その後、その双六ゲームを全員で行い、楽しみながら地域を知り、地域について理解していく面白さを体感することができました。

全校道徳出前講座

鏡石中学校

12月5日㈮、全校道徳出前講座を開催しました。ふくしまソーシャルワークラボの一條仁様によるダイバーシティについての講話をいただきました。その中で人権とは何か、個性の尊重とは何か等を考え、自分を見つめ直し、一人一人の個性を尊重し、いじめや差別のない社会を作っていくことの大切さを学びました。

この経験を生かしてよりよい人間関係をつくっていけるよう期待しています。



「来て見て一小！（1日授業参観）」

第一小学校

12月16日㈫に「来て見て一小！」（1日授業参観）を行いました。これは、保護者の皆様が1校時目から6校時目までのどの時間帯を見ていただいてもよい日のことです。子どもたちは少し緊張した様子でしたが、集中して学習に取り組むことができていました。

また、11時30分からは、あやめホールで給食試食会を行いました。1年生の保護者を中心に、普段子どもたちが食べている給食を試食していただきました。その後子どもたちの配膳の様子も見ていただきました。充実した「来て見て一小！」でした。

環境創造センター(コミュタン福島)見学

第二小学校

4年生の見学学習が、「環境創造センター（コミュタン福島）」で行われました。

この施設は、福島県が東日本大震災・原発事故からの復興に向かう歩みや現在抱えている環境課題や未来へのビジョンなどについて、プロジェクションマッピングや体験を通して学ぶことができる施設です。中でも不思議な虫眼鏡を使って生き物を探したり、砂を使って再生可能エネルギーについて学んだりできるブースが、心に残っているという感想が多かったです。

わたしたちを取り巻く環境について見て触れて詳しく知る貴重な時間となったようです。